

120年の歴史を振り返る

児童が寸劇などを披露 横芝小学校創立120周年記念式典



明治7年に開校し、創立120周年を迎えた横芝小学校で12月1日、同校体育館を会場に記念式典が行われました。

式典には、児童や父母、町関係者など700人以上が出席。伊藤仁実行委員長に続いてはいさつに立った高橋英臣校長は、歴史を振り返りながら、「今後も名門校にふさわしい自慢できる学校、子どもを育てあげ、みなさんの期待に応えていきたい」と決意を述べました。また、實川町長や齊藤町議会議長などもお祝いにかけて「将来の町の担い手としてスポーツに勉強に頑張ってください」と子どもたちに激励の言葉を贈りました。

式典あとのアトラクションでは、全校児童が学年別に発表を行い、学校を題材にした替え歌や寸劇など多彩な出し物を元一杯に披露しました。

また、鳥喰上・新田おはやし保存会と鳥喰下大神楽保存会のみなさんによるおはやしや獅子舞など伝統芸能も披露され、式典に花を添えていました。

この「祭り」は、地域のみなさんに、横芝の農業を理解してもらおうと町と農業振興会、JA山武が共催で開いているもので、今年で21回目。

場内では、新鮮な野菜や肉の即売、もつ煮や焼き肉などのサービス、花の球根と大根の無料配布、そして歌謡ショーなどと盛りだくさんの催しが行われま



恒例となった横芝町農業祭が11月23日、文化会館の駐車場を主会場に開催され、家族連れなど約3000人の人出で賑わいました。

農 業 祭

三千人の人出で活気付く 綱引き大会は男女長倉チームが優勝

したが、昨年の大凶作から一転して例年にならない豊作となった今年は、どのコーナーもひとときわ活気に満ち溢れていました。

また、一昨年から健康コーナーとして加えられた綱引き大会は、年々盛り上がりを見せ、今回は男女それぞれ7チームが出場。各試合接戦となりましたが、男女ともに長倉チームが優勝を飾りました。



応援にも熱が入った綱引



町内総出で側溝清掃

収集した空きカン・ビンは9.2トン 4500人が参加 町内一日清掃

12月4日の日曜日、早朝から各地区で町内一日清掃が行われました。

今回収集されたゴミは、汚泥・草木などがトラック20台分、空きカン・空きビンは約9.2トンにもなりました。

年々深刻化するゴミ問題。明るく住みよい町をつくるためにもゴミの不法投棄は絶対にやめましょう。